

# 能登原学区 まちづくり計画

～ 絆 支え合う 安心・安全なまち ～



阿伏兎観音堂



とんどまつり

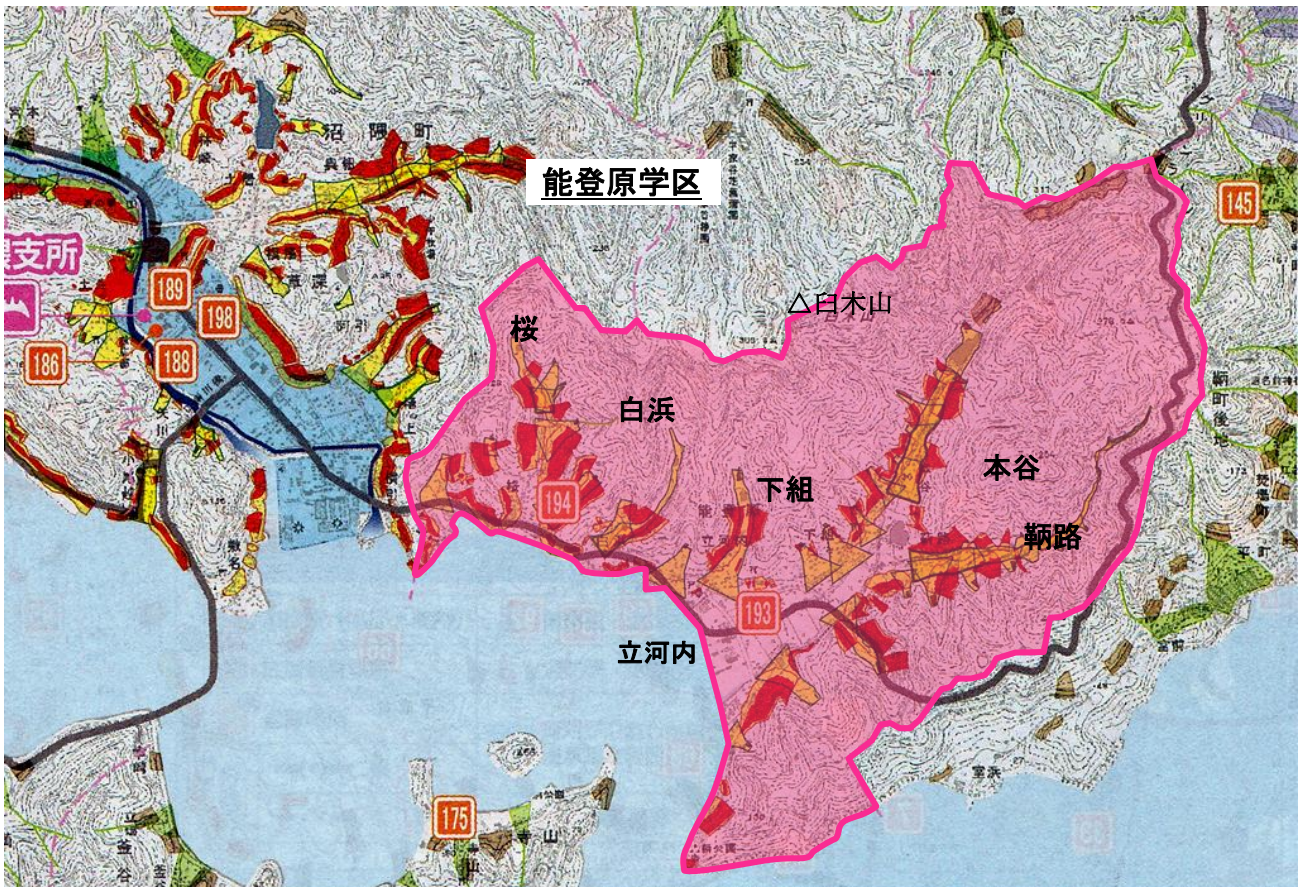
## 2015年度（平成27年度） 能登原学区まちづくり推進委員会

- 1 能登原学区自治会連合会
- 2 明るいまちづくり能登原学区委員会
- 3 能登原公民館運営委員会
- 4 能登原公民館
- 5 能登原学区の福祉を高める会
- 6 能登原学区ボランティアの会
- 7 能登原学区人権学習推進協議会
- 8 能登原学区公衆衛生推進委員会
- 9 能登原学区子どもを守る会
- 10 能登原小学校
- 11 能登原保育所
- 12 能登原小学校PTA
- 13 能登原学区青少年育成員協議会
- 14 能登原学区民生・児童委員
- 15 能登原学区老人会
- 16 能登原学区体育会
- 17 能登原とんど保存会
- 18 福山西交通安全協議会能登原支部
- 19 在住行政職員会の会
- 20 福山市消防団能登原分団
- 21 能登原学区自主防災協議会
- 22 福山市西防火協会沼隈能登原支部
- 23 福山市能登原学区防犯組合



# 目 次

- 1.まちづくり計画とは
- 2.学区の概要
- 3.学区の現状と改善要望（学区まちづくり懇談会より）
- 4.まちづくり計画スローガン
- 5.まちづくり計画事業内容



## 1. まちづくり計画とは

「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」に従い、学区ごとに地域住民が主体的にまちづくりに取り組んでいくための「活動の柱」となるものです。

能登原学区では、学区まちづくり懇談会等でのご意見や日頃の情報などから、能登原学区の良いところ（強み）を生かして、困っていることや良くしていきたいところ（こうなったらええなあ）を整理していきました。今まで進めてきたまちづくり事業をベースに、重点内容を3カ年計画で策定し進めていくものです。

まちづくりは誰かがしてくれるものではありません。住民一人ひとりがそれぞれ役割を担い、共に力を合わせ、共に汗をかき、進めていかななくてはなりません。この計画をもとに、私たちのまち能登原のことをみんなで考え、私たちでできることから始めましょう。



## 2. 学区の概要

能登原学区は沼隈半島の最南端に位置し、北と東西を山で囲まれ、南は海に面しています。集落は東部では本谷川沿いの山裾に、西部では海岸沿いや谷あい地に形成されていて、家は集落内に点在しています。高地は本谷川沿いに田が広がり、川沿いや海岸沿いの山麓や丘陵部に畑が開かれています。

昔、地形上の天然の良港を生かし操船技術にも優れ、「磯間の三将」と呼ばれた平家の武将の一人「能登守教経<sup>の とのかみのりつね</sup>」もこの海を支配していた操船名人「斐忠次郎<sup>このみちゅうじろう</sup>」にその技を学んだとされ、平家にまつわる史跡や言い伝えも数多く残されています。

1997年（平成9年）に新県道が整備され、砂浜が続く浜辺に変えて港が整備され、往時を偲ぶことはできませんが、本谷・鞆路・下組・立河内・白浜・桜の6地区は変わることなく自治組織を継承し、活動を続けてきました。

特に、福山市合併前の沼隈町時代には、「地域のことは地域の手で」「一荷合力」の精神で住民主体の地域づくりに取り組み、地域の特性を生かしたユニークな数々の取り組みが自治会ごとになされ、大きな成果を上げてきました。これが、今日福山市が提唱している「協働のまちづくり」へも受け継がれていると思われます。

2005年（平成17年）福山市と旧沼隈町との合併を機に能登原学区自治会連合会として、各種団体からなる学区まちづくり推進委員会を組織し、人権文化が根付いた安心安全な地域まちづくりを進めて現在に至っています。



かつて人々の生活は、昼間はサラリーマンとして働きに出かけ、休日には農業に就くという地域で、稲作を中心としてイ草・葉タバコ・みかん・花卉などの栽培、漁業、製塩業などで生計を立てていました。また、高度成長期時代は、学区内にも伸鉄工場などが多く存在し、就労確保ができて活気があり、人情も厚く太い絆で繋がった生活を送っていましたが、時代とともに就労場所も遠くなり、若者は福山市内にまで働きに出かけるようになって、昼間は残った高齢者がわずかな田畑を耕作し農地を守ってきました。その後高齢化とともに手つかずの田畑が増え、耕作放棄地や少子高齢化・地域活性化とともに大きな課題となっています。

瀬戸内海に面した阿伏兎山の山頂からは燧灘の多島美を望むことができます。また、岬の先端には阿伏兎磐台寺、観音堂が建ち、安産の祈願所としても有名です。西は口無しの瀬戸に架かる内海大橋の雄大な姿を見ることができ、特に太陽が大きな夕日となって橋の向こうに沈む景色は、まさに南海のリゾート地を思わせ、その一瞬をカメラに収めようとする写真愛好家の絶景ポイントとなっています。

東と北は熊ヶ峰から連なる尾根と臼木山を背にし、温暖で災害の少ない地域と言われてきましたが、今は、災害想定の見直しにより、大地震や台風等による豪雨の影響を受ければ、津波、高潮、山崩れによる大きな被害が心配される地域ともなっています。

## 能登原の歴史 ～キーワード～ (沼隈郡誌より)

- ① 地名由来：「平家の盛時 能登守平教経・・・此地に來たり舟軍を操練す、後壇ノ浦落ちの時 之に宿陣す、仍て地名となす」
- ② 源平合戦：「文治元年・・・平教経の・・・終に退いて・・・口無の海を保ちて・・・東阿伏兔の狭口を堅め・・・岡卓に上って本陣を構ふ（今の能登ん堂）・・・」
- ③ 矢の島、弓掛松：「源氏の荒武者どもは勝ちに乗じて一気に追いかたり、先陣已に鞆に泊し、一隊別に田島に陣す（那須與一堂・・・内浦に現存す）・・・能登守は松（弓懸松）に懸けたる弓を・・・真先に駆出で・・・」
- ④ 能登原八幡神社：「・・・祭神は仲哀天皇・神功皇后・応神天皇にして・・・境内に能登守教経の弓懸松あり・・・」
- ⑤ 平家伝説 （殿坂神社・弓懸松・能登ん堂・矢の島）
- ⑥ 阿伏兔観音・阿伏兔岬・大悲閣の由来：「今は昔・・・」
- ⑦ 阿伏兔の語源、備後州阿伏兔海潮山盤台寺 縁起 絵馬
- ⑧ 伝統行事（亥の子・御弓神事・とんど・・・）
- ⑨ 伝承・観音さん・いぼ神さん・狐伝説・能登原力石・巨人の足跡・・・
- ⑩ 尾道や鞆との交易
- ⑪ 鞆や尾道を結ぶ海の道・鞆や松永を結ぶ東西の道
- ⑫ 撥木による灌漑・千本撥木
- ⑬ 塩業：江戸時代後期 入り浜式塩田・明神の三つの塩浜・・・
- ⑭ 藺草栽培
- ⑮ 青年団活動、少年団、婦人会
- ⑯ 山本瀧之助頌徳碑：1935年(昭和10年)、“青年の父” 青年の指導者山本瀧之助の功績をたたえて建立。

等々

\* 順不同であげています。今後まちづくり事業で取り組みます。

### 3. 学区の現状と改善要望（2014年度（平成26年度）学区まちづくり懇談会より）

	良いところ	良くしていきたいところ
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の草取り作業及び溝掃除の実施へ協力者が多い。（隣保ごとによく参加）人柄がよく、奉仕活動に積極的に参加している。</li> <li>・自治会加入率がよい。（100%の地区もある）</li> <li>・規模が小さくまとまりやすい。</li> <li>・イベントの参加率が高い。本谷幸せ会（食事会）等毎月の実施により各家庭の様子がよくつかめている。</li> <li>・高齢者の方々の知恵が役立っている。</li> <li>・資源回収の徹底がなされ良好。</li> <li>・観光資源（瀬戸内海国立公園・阿伏兎観音等）や伝統行事（とんど・いのこ等）が豊富でマスコミ取材、観光客の来訪が増えつつある。</li> <li>・桜の植樹をして花見ができる程になっている。</li> <li>・自然環境が良い。（早朝の船の音・鳥のさえずり・・・）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線のスピーカーの設置場所や仕組み等について周知（防災訓練の充実）する必要がある。</li> <li>・防災体制（火災・急傾斜地・海岸等）を整える。緊急連絡網の徹底がプライベートへの配慮のため不十分。</li> <li>・災害時、避難行動要支援者への対応について、話し合いが必要。</li> <li>・空き家・耕作放棄地・管理者不在山林への対策が必要。</li> <li>・土地の草刈等、生活感を出していく。</li> <li>・常会の参加が半数なので開催日時の検討や呼びかけで参加率を高める。</li> <li>・子どもや老人が集える場所（道の駅のような）を作る。</li> <li>・独居老人への買い物支援が必要。</li> <li>・阿伏兎観音に向かう海岸道や鞆からの隧道に続く道などの整備。（植樹等）</li> </ul>
各団体	<p>歴史と自然が調和したまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・800年前に遡る歴史的な文化が根強く生きている。</li> <li>・学区民の自主的な活動の中で、能登原とんどを独自のスタイルで継承できている。</li> <li>・波静かな瀬戸内の海と山がある。</li> <li>・学校行事への参加度が高い。</li> <li>・環境整備の意識が高い。ゴミ分別収集への前向きな姿勢、清掃管理の徹底、ルール遵守、教育効果大となっている。</li> <li>・6自治会の住民が互いにふれ合いを深めながら、地域を豊かにしていこうという根強い気持ちがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事への参加・協力体制・支援体制の充実が必要。</li> <li>・能登原とんどの興隆、制作過程の周知や人材確保のためにネット配信。HP公開が必要。</li> <li>・児童・保護者・住民、各世代間の交流（挨拶運動・声かけ等）を深める（例：学区民運動会の充実・ふるさと学習等学校教育への支援）必要がある。</li> <li>・交通安全対策への定期的チェック（危険箇所・安全教室等）が必要。</li> <li>・非常災害時における避難体制の充実避難行動要支援者の把握が必要。</li> <li>・防犯カメラの設置（消防屯所前交差点、白浜公園、下組三叉路）が必要。</li> </ul>

#### 4. まちづくり計画スローガン

絆 → 支え合う ☺ 安心・安全なまち

- みんなで取り組む安心・安全のまち
- みんなで築く住みよい環境のまち
- みんな笑顔で健康な福祉のまち
- 郷土の歴史や伝統・文化を継承するまち
- ふれあいいっぱい誰とでもつながるまち

潮風と歴史のかおる、  
心の豊かさが実感できる、  
子どもたちがまた帰ってきて住みたいと思う、  
そんな能登原を 住民一人ひとりの協働で実現しましょう！！

#### 5. まちづくり計画事業内容

分野《安心・安全》

みんなで行く安心・安全のまち

分野	事業	取り組み内容	継続	目標達成期間		
				短期	中期	長期
安心・安全	各自治会の自主防災活動・連絡網の整備	各自治会の活動や整備状況について、まちづくり推進委員会定例会で交流し、順次改善に努める	●			
	災害時避難経路、避難場所の確認確保	各自治会の活動や整備状況について、まちづくり推進委員会定例会で交流し、順次改善に努める	●			
	災害時非常用品の拡充	建物等倒壊時の非常時対応のため、全自治会の隣保班長単位まで、油圧ジャッキを配布する	●	●		
	学区防災・地震津波避難訓練の実施	自治会の自主防災訓練を奨励し、消防署・消防団等との連携による避難訓練を学区全体で年1回開催する	●			
	独居老人、避難行動要支援者への対応	毎年敬老の日までに、自治会ごとの対象者の情報確認を学区で共有する	●			
	登下校時「見守り隊」による挨拶運動	警察・交通安全指導員等との連携により見守り活動を日常化し、子ども110番を周知徹底する	●			
	防犯カメラ設置	福山市防犯カメラ設置促進事業に申請すると共に、学区の防犯意識の向上へ向け住民へ周知する			●	

分野《環境》

みんなで築く住みよい環境のまち

分野	事業	取り組み内容	継続	目標達成期間		
				短期	中期	長期
環境	学区美化・エコ活動の推進	小学校の環境教育（3R・クリーン活動3回／年等）との連携、地域一斉清掃3回／年、ヒートアイランド対策を行う	●			
	地域コミュニティ育成事業の推進	自治会の花壇整備（バラ園・公園）を年間通して行う	●			

分野《健康・福祉》

みんな笑顔で健康な福祉のまち

分野	事業	取り組み内容	継続	目標達成期間		
				短期	中期	長期
健康・福祉	いきいきサロンの定期開催	毎月1回65歳以上の高齢者を対象に運動・研修などの学習活動を実施し、手作りの食事を提供し交流する	●			
	健康保持増進の事業を実施	学区民の健康保持増進とコミュニティ活性化のため、それぞれ年1回開催する	●			
	福祉農園事業の推進	地域の空き耕作地を活用し、世代間交流と高齢者の健康確認のため、栽培手みやげ活動を展開する	●			
	食育推進事業の推進	高齢者（年2回）と子ども（子ども年1回）を対象に料理教室を実施する	●		●	



いきいきサロンでの健康体操のひとこま



分野 《伝統・文化》

郷土の歴史や伝統・文化を継承するまち

分野	事業	取り組み内容	継続	目標達成期間		
				短期	中期	長期
伝統・文化	とんど祭り行事の充実	1月第2日曜日に学区に6基のとんどを自治会ごとに製作し、各地区を練った後小学校運動場に集結する	●	●		
	とんどの情報発信（市との連携）	観光協会と連携して広く啓発し、製作や祭り当日の担ぎ手を公募したり観光客を募ったりして発展させる	●			●
	ふれあいコンサート開催	学区民がすぐれた音楽に触れる機会をつくるため、年1回小学校体育館でコンサートを開催する	●			
	学区の歴史文化の伝承	学区の歴史文化の遺跡や建造物・故事について伝承のため、学習会開催や看板を設置し、広く啓発を図る		●	●	●

分野 《ふれあい》

ふれあいいっぱい誰とでもつながるまち

分野	事業	取り組み内容	継続	目標達成期間		
				短期	中期	長期
ふれあい	ふれあい祭り開催	公民館活動学習発表の場として年1回、公民館で祭り（展示・発表）を開催し、各自治会の模擬店で触れ合う	●			
	学区合同運動会共催・充実	学区合同の運動会を開催し、住民の健康保持増進運動・世代間交流等により、地域の活性化を図る	●			
	わくわく広場（子ども）・悠友広場（成人）の開催充実	公民館の施設で、長期休業中の子どもの体験学習や、成人の学習意欲を高める研修や製作活動等実施する	●			



無病息災を願って火がつけられます



地域・保育所・小学校合同運動会



## 地域活動の様子



ふれあいまつり：フラダンスの発表



口無しの瀬戸を背景にグラウンドゴルフ大会



防災訓練：ジャッキアップによる人命救助



歴史探訪も兼ねた健康ハイキング



いきいきサロン：スカットボールで交流



第二次福山市協働のまちづくり行動計画  
能登原学区「地域まちづくり計画」

発行日：2015年（平成27年）8月

発行者：能登原学区まちづくり推進委員会

〒720-0312 福山市沼隈町能登原1589-7

福山市能登原公民館内

☎（084）987-4460